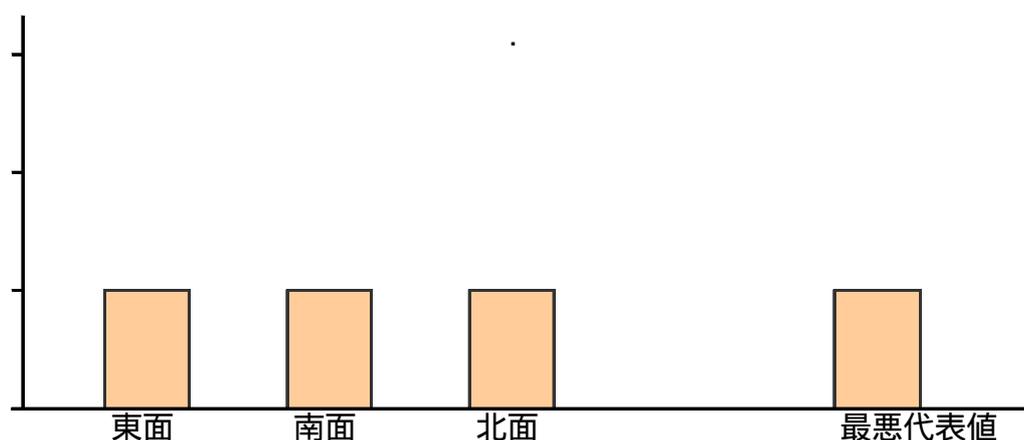


中性化の調査表

建物名称：*****

調査部位：B棟塔屋



調査部位	中性化深さmm	劣化度区分A	劣化度区分B	劣化度区分C	備考
B棟塔屋 東面	3	A1	B1		
B棟塔屋 南面	7	A1	B2		
B棟塔屋 北面	2	A1	B1		

- ・測定値X
- ・設計かぶり厚さD = 30 mm
- ・岸谷式中性化速度式による計算式K= 12.91 mm

測定値による区分	区分基準 (中性化深さ) mm	
	屋 外	屋 内
A 1	$X < 0.5 D$	$X < 0.7 D$
A 2	$0.5 D \leq X < D$	$0.7 D \leq X < D + 20$
A 3	$D \leq X$	$D + 20 \leq X$

速度による区分	区分の基準 (中性化深さ) mm
B 1	$X < 0.5 \times K$
B 2	$0.5 \times K \leq X < 1.5 \times K$
B 3	$1.5 \times K \leq X$

劣化度の区分	区 分 の 基 準
(軽度)	A 1 且 B 1 , A 1 且 B 2 , A 2 且 B 1
(中度)	A 1 且 B 3 , A 2 且 B 2
(重度)	A 2 且 B 3 , A 3 且 B 1 , A 3 且 B 2 , A 3 且 B 3

- 1 躯体の評価（中性化）

建物名称：*****

中性化速度による区分	B3	(中度劣化) 現状で問題はないが 予防保全的な対応は 必要である	(重度劣化) 中性化が鉄筋まで至 るか速度が異常に速 いので原因究明後対 応が必要である	(重度劣化) 中性化が鉄筋まで至 るか速度が異常に速 いので原因究明後対 応が必要である
	B2	(軽度劣化) 現状において問題は なく現時点での補修 等の対応の必要はな い	(中度劣化) 現状で問題はないが 予防保全的な対応は 必要である	(重度劣化) 中性化が鉄筋まで至 るか速度が異常に速 いので原因究明後対 応が必要である
	B1	(軽度劣化) 現状において問題は なく現時点での補修 等の対応の必要はな い	(軽度劣化) 現状において問題は なく現時点での補修 等の対応の必要はな い	(重度劣化) 中性化が鉄筋まで至 るか速度が異常に速 いので原因究明後対 応が必要である
		A1	A2	A3
中性化深さによる区分				

・躯体中性化の評価

軽度劣化

中性化の進行はあまりなく、現時点での中性化による鉄筋腐食は考えられませ
るので、補修は必要ないと思われます。